

地区名 由利本荘市・にかほ市

所在地 由利本荘市石脇新山公園

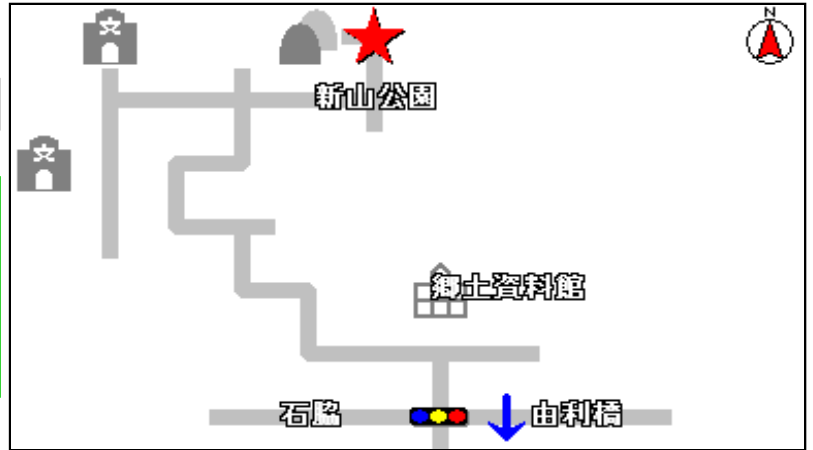
バス駐車 ○ 大地のつくり

トイレ ○ **火山のはたらき**

露頭までの道のり

由利本荘市の新山公園が観察場所となる。

安全上の留意点



公園内であるので、むやみに石を採取したり環境を変えたりするような行為はできない。ルーペで岩石の表面を注意深く観察することが中心となる。その際、絶対に太陽をみないことを徹底する(失明の恐れがある)また、観察場所が広いので、児童の動きを掌握できる工夫が必要になる。

観察のポイント

- ①公園各所に火山のはたらきでできた岩石(凝灰角礫岩)が散らばっている様子。
- ②角ばった礫が多数集まってひとつの岩石になっている岩があること。

地質年代

新第三紀中新世後期(7~800万年前)

解説

新山安山岩が見られ、船川層の中に挟まれていると考えられている層である。K-Ar年代は7.6Maと推定されている。  
 安山岩質の火砕岩からなり、発泡した岩塊が集まっている凝灰角礫岩が公園内に点在していた。水中で自破碎した証拠となるジクソークラックも確認でき、水中での噴火による溶岩であることが分かる。  
 砂岩や泥岩、化石などが見あらず、穴の開いた火山のはたらきでできた岩石が見られることから「火山のはたらき」とであると判断できる。

露頭概観

指導形式

B



3歳児の背丈と比べてもその大きさが分かる。このような山の頂上に火山のはたらきでできた岩石があることを知るのは地域の自然を見直すよい機会と言える。



昔の新山スキー場があった場所付近に新山安山岩が点在していた。何故か近くにはお地藏様が鎮座している。地元との歴史と関わっているのかもしれない。



凝灰角礫岩の中に、にせピローが確認できた。また、水中で自破碎したことを示すジクソークラックが確認できる場所もあった。